

看護学の様々な領域と薬理学との橋渡しを目指す

✚ 看護の視点が ㊄ 薬物治療を変える

看護薬理学 カンファレンス 2020 in 熊本

The Nursing Pharmacology
Conference

開催

2020年11月21日(土) 9:00-16:00

オンライン開催 **熊本大学薬学部**

カンファレンス大会長

宮田 篤郎 (鹿児島大学学長補佐
日本薬理学会理事)



生理活性物質PACAP
研究の世界的権威
循環器薬理学領域において日本を
代表する研究者の一人です。

受講対象

定員: **300名**(先着順)

看護職を主な対象としま
すが、看護職以外の方の
受講も歓迎いたします。

参加費 **2,000円**

参加登録 参加申込: 事前登録必須
登録期日: **11月19日(木)**まで

※ 薬理学会非会員の方は、看護薬理学カンファレンスHPから事前申し込みの上、参加費のお振込をお願いします。
※ 薬理学会会員の方は、参加費無料です。看護薬理学カンファレンスHPから事前申し込みをお願いします。

看護薬理学カンファレンス 2020 in 熊本



2020年11月21日(土) オンライン開催 (熊本大学薬学部)

プログラム

看護薬理学カンファレンス開会式 9:00

■ シンポジウム1 9:10~10:40

災害時に地域の人とその生活を守る:

～多職種による多角的アプローチ

座長: 野間口 千香穂先生 / 原田 奈穂子先生
(宮崎大学医学部 看護学科 小児看護学領域 教授) (宮崎大学医学部 看護学科 精神看護学領域 教授)

1 『包括的な支援を行うために:地震、津波、そして
新型コロナウイルスパンデミックに向き合う』
原田 奈穂子先生 (宮崎大学医学部看護学科 精神看護学)

2 『熊本地震における多職種連携による支援:
Line活用による情報共有』
宮崎 ひさみ先生 (訪問看護ステーション帝塚山もも)

3 『大規模災害におけるリハビリテーション支援』
佐藤 亮先生 (山鹿温泉リハビリテーション病院 JRAT熊本)

4 『多職種連携を志向する薬事支援の在り方』
江川 孝先生 (福岡大学薬学部 臨床薬学)

■ 看護薬理学教育セミナー1 11:00~12:00

『本当は知らない薬の作用機序?』
ー 新たな作用とリポジショニング ー』
磯濱 洋一郎先生 (東京理科大学薬学部 教授)

■ 看護薬理学教育セミナー2 13:00~14:00

『ピルの話 ー 基礎から臨床まで ー』
有馬 純子先生 (鹿児島市立病院 薬剤部長)

■ シンポジウム2 14:20~15:50

次世代を担う看護系人材の育成

座長: 前田 ひとみ先生 / 武藤 雅子先生
(熊本大学大学院 基礎看護学 基礎教育学講座 教授) (町立太良病院 看護部長)

1 『国際通用性のある看護職の育成』
大西 真由美先生 (長崎大学大学院 公衆衛生看護学分野 教授)

2 『次世代に求められる看護研究者の育成
～異分野融合研究から得た経験をもとに～』
橋口 暢子先生 (九州大学大学院 統合基礎看護学講座 教授)

3 『人間が好き!看護が好き!』
そんな後輩を増やしていきたい!』
松永 智香先生 (JA高知病院 副院長兼看護部長)

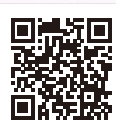
閉会式 15:50

【参加登録】

参加申込:事前登録必須 登録期日:11月19日(木)まで

※薬理学会非会員の方は、看護薬理学カンファレンスHPから事前申し込みの上、参加費のお振込をお願いします。

※薬理学会会員の方は、参加費無料です。看護薬理学カンファレンスHPから事前申し込みをお願いします。



お問い合わせ先

看護薬理学カンファレンス事務局

担当: 宮崎大学医学部看護学科臨床薬理 柳田俊彦 宛

yanagita@med.miyazaki-u.ac.jp

※メールの件名には「看護薬理学カンファレンス2020in 熊本」とご記入ください。

本カンファレンスは下記学会のサテライト企画として開催されます